

正覚寺だより

スジャー夕

65

平成31年(2019)

元旦発行

「スジャー夕とは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である」



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念佛からはじまる幸せ
2024

仏法を伝える

こじゅうそう でん
「五重相伝」満行



昨秋 五重相伝満行記念

[住職のつぶやき]

多事多彩

— 長かった私の平成30年 —



[住職のつぶやき]

多事多彩

— 長かった私の平成30年 —

住職／山縣 正紀



(1)

正覚寺では季節ごとの法要は無論、毎月2回は「写経の会」など色々な行事を行っている。昨年はそれらに加えて、5年に一度の五重相伝ごじゅうそうでんを開催する年だった。

それは浄土宗の教えを伝える最も重要な行事で、住職として最大の力を注がなければならない大きな法要である。

5日間にわたる行事の為、前々から相当の時間を割いて準備を重ね秋を迎えた。

(2)

また個人的なことだが、2人の息子達がそれぞれ良縁に恵まれ、結婚式を京都の総本山知恩院で挙行了した。3月と5月、短期間に続いての挙式や披露宴で慌ただしかった。

お嫁さんは2人とも関西出身で、滋賀、京都、神戸と新幹線で何度か往復することになったのである。

加えて昨年は、呉宮原高校の卒業生有志約100人で作っている「呉宮原会」の代表を務めた。

異業種交流会の1つでもあるが、毎月、例会を企画実施している。特に昨年は、会の創立40周年にあたり、記念行事も行ったりと多端で年間予算は1,000万円を超えた。

任意団体とはいえ責任ある立場だったのである。

また、富士山へも登った。スジャータの63号に書いた登頂計画だが、昨年8月21日(火)めでたく山頂に立つことが出来た。

スキーのため雪山へ、リフトやゴンドラで楽に登ることはあっても、歩いて登るなど考えたことも無かったが、良き仲間と希まれな好天に恵まれ、それはとても得がたく素晴らしい体験になった。

その他、きょうかいし教誨師としての活動、また想定外のことも多々あったけれど、お陰さまで総ての事柄を滞りなく勤めることが出来た。

(3)

ただ、各地で大きな自然災害が頻発し、当地の7月豪雨の折りには、安浦町市原集落で親戚の家屋が土砂に埋まった。2日後にヘリコプターで無事救助され、短期間ながら我が家に避難していた。

そんなこともあって平成30年は多事多彩、例年では出会えない人達と出会い、沢山の新たな経験もした。

私にはとても印象深く、強く記憶に

残る年となった。平成30年を振り返ると、
「1年がとても長かった」と感じるのである。

(4)

子供の頃の1年間は長い。でも大人になると短く感じることが多い。

幼、青年期には日々新たな出会いと経験を重ね、多くのことを学ぶ。1年間で増える知識や、新しく見聞する物事の量は相当なものだ。身も心も大きく「成長」する。

感受性が強く、変化に富む青年期までと比べ、一般的な中高年の「成長」は微々たるもので、その差は歴然としている。

「大人になってからの1年間は短い」と感じる理由の一つは、そこにあるのではないだろうか？

(5)

春には元号も変わる。年頭に当たり何か新しいことにもトライしてみよう。年齢に関わらず、好奇心や前向きな姿勢が大切だと思う。

月日の流れを年々速く感じるのは、ある程度仕方ないことかも知れない。

しかし、少しでも「成長」または「変化」や「出会い」などがあれば、けっこう長く感じるのではないか。

今年も精進したいと思うのである。



切絵作成：畝 英樹さん（三条）

平和で毎日が明るく
天候も穏やかで
災害や病気の流布もなく
国が栄え国民が安心して暮らし
争いもなく徳を尊び
人を思いやり礼儀正しい
そんな世の中になりますように



平成三十一年 元旦

正覚寺だより「スジャータ」は年頭の賀状も兼ね、全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があったご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。

修正会と新年互礼会

平成31年1月12日(土) 午前11時より

- ▶ 景品のあたるゲームやビンゴを予定しています。
- ▶ ご遠慮なくお申し込み下さい。

会費

／3,500円(お弁当代他)

申し込み

／1月8日までに電話などで

仏法を 伝える 五重相伝

ご じゅう そう でん

— 短期集中 仏教講座 —

昨秋 10月31日から5日間開催された

浄土宗の教えを、皆さんにお伝えする最大かつ最善の法要です。

今回は29名の方々が満行されました。

「参加してとても良かった」

「次回もまた参加します」

という感想を聞くと、やり甲斐を感じました。お念仏を喜び、浄土宗の教えを支えとして下さる方が増えることは、催した住職として誠に有り難く、とても嬉しいことです。

次回の開催は5年後、2023年の予定です



感謝録

- 江口泉さんは、更に五重相伝参加者全員に腕輪念珠そして5回目、6回目参加の方にそれぞれ二連念珠を發起人として贈って下さいました。
- それは今行われている、国宝総本山知恩院大殿だいでんの平成大修理で出た古材で作られた記念すべきものです。



中四国檀信徒大会

昨秋 10月4日(木)開催された
=瀬戸田町 ベルカントホールにて=

正覚寺からは小型バスを貸し切り19名で参加し、午前中は記念講演、午後からは落語を鑑賞しました。閉会后、希望者は耕三寺へもお参りして秋の一日を楽しみました。



首都圏在住の方々のための

東京法要 =港区の大本山増上寺にて=

昨年9月2日(日)例年のように勤めました。親子兄弟などで東京近辺在住の方がおられましたらご連絡下さい。今年も開催しますので、案内状をお送り致します。



春のお彼岸

3月21日(祝・木) 朝10時より

講師：津和野町・光明寺

本田 行尚 師



総本山知恩院

高齢者招待祝賀会

今年80歳を迎える方々
どうぞご参加ください。

- ◆日時 平成31年4月18日(木)
- ◆場所 総本山知恩院
- ◆招待者 昭和14年生まれの方と
同伴者1名
- ◆申し込み 2月末日までに正覚寺へ
◎ご出席の方には詳しい案内状をお送りします。

平成30年 檀家会費・会計報告

(単位：円)

収入の部

年会費・一口 3,000円
受付・11月末日まで随時

- 送金には郵便振替が便利です。
口座番号・01300-5-13754
加入者名・浄土宗 正覚寺
※近くの郵便局にある振替用紙をご利用下さい。
- ご持参頂ければ、お彼岸などの法要の時にも受付けております。

支出の部

- 昨年も、皆さまのご協力をいただき、誠に有り難うございます。
- 今まで未加入の方々にも、今年よりご加入下さい。よろしくお願い致します。

法事を勤めることは、残った家族親族が、故人に導かれて縁を深める良き機会になると思います。

2019年 年回表



- 今年の法事は右の表のようになります。参考にして各家の位碑などを調べて下さい。
- 25回忌は、される方もされない方もあります。
- おおむね3ヶ月前から受け付けています。まず日時を正覚寺と相談の上、予定を決めて下さい。

1 周忌	平成 30 年亡
3 回忌	平成 29 年亡
7 回忌	平成 25 年亡
13 回忌	平成 19 年亡
17 回忌	平成 15 年亡
23 回忌	平成 9 年亡
(25 回忌)	平成 7 年亡)
27 回忌	平成 5 年亡
33 回忌	昭和 62 年亡
37 回忌	昭和 58 年亡
50 回忌	昭和 45 年亡

3月までのおもな行事

1月	12日(土) 11:00~13:00	修正会と新年互礼会
	19日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	土曜塾(住職の法話) ヨガ教室・詠唱の会
2月	2日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	写経の会 詠唱の会
	16日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	土曜塾(住職の法話) ヨガ教室・詠唱の会
3月	2日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	写経の会 ヨガ教室・詠唱の会
	21日(祝) 10:00~12:00	春彼岸会 (講師:本田行尚 師)

※ どなたでもご自由にお参り下さい。
一回限りのご参加でもかまいません。

西日本豪雨災害義援金

50,000 円を中国新聞社へ

昨年7月の豪雨では、正覚寺檀信徒の中にも被災された方がありました。住職が把握してない被災の方もいるかと思えます。心よりお見舞い申し上げます。

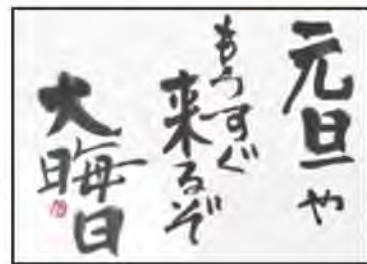
お盆に義援金箱を用意したところ、皆様から35,0710円を拝受致しました。

住職の志を加えて5万円を、正覚寺お盆参詣者一同として送金させて頂きましたのでご報告致します。



あとかき

- 正覚寺だより「スジャータ」をお送りしておりますが、もし不用の方がございましたら、どうぞ遠慮なくお知らせ下さい。
- 正覚寺へお便りを頂く時には、恐れ入りますがご住所と共に、郵便番号も書いて頂けると返信のおりに助かります。よろしくお願い致します。
- 参詣の時「進物の大進」駐車場への駐車は、迷惑をかけることとなりますのでご遠慮下さい。正覚寺の駐車場が判らない方は、お声かけ下さい。



発行所/〒737-0033 呉市寺本町2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ/0823-21-6086 Eメール/shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX/0823-22-9922 郵便振替/01300-5-13754